第7回　福井市都市計画マスタープラン等策定委員会　議事録（要旨）

日　時　：　令和7年7月7日（月）　15：30～16：30
会　場　：　福井市役所　本館8階　第8会議室 A・B
出席者　：　別紙のとおり
事務局　：　福井市都市政策部都市計画課

【議事内容】

〇事務局

＜「(1) パブリック・コメントの結果を踏まえた素案の一部修正について」説明＞

〇委員長

ここまでのご説明につきまして、ご意見、ご質問がございましたら、よろしくお願いしたい。

〇委員

スライドの18ページ⑦意見の「市民の意見を聞いてほしい。テレビや SNS で宣伝するべきである。」について、市の回答である「全体構想55ページの ICT 等を活用して、都市計画に関する情報発信を充実することとしている」もよく分かるが、「市民の意見を聞いてほしい」という部分について、もう少し踏み込んでほしいというのが、この方の意見かなという気がする。例えば、全体構想 P54 の（2）や（3）に書き加えたほうが、意見への対応としては適切ではないかと思う。

〇事務局

いただいたご意見を踏まえて、記載内容の追記・修正について検討する。

〇委員

これは意見ではないが、⑤意見で東口エリアについて意見が出ていたと思うが、2025 年 6 月末頃、福井県立大学の地域政策学部という学部の認可が正式に下りた。2026 年 4 月より学生の受け入れが開始され、1年生のときは永平寺キャンパス、2 年生以降は駅前キャンパスとなるアオッサで学ぶことになる。2029 年度の4月には約 210 名の学生が滞在することとなり、東口の大きな変化になると思う。

〇委員長

それは随分、賑やかになりそうな取組ですね。
続いて、委員会提言の案について、ご説明をお願いしたい。

〇事務局

＜「(2) 委員会提言（案）について」説明＞

〇委員長

この議事は今回の改定における最終項目となる。ついては、大変恐縮だが委員の皆様から一言ずつご意見をいただきたい。

〇委員

長期にわたり委員の皆様と議論を重ね、それぞれの思いが一つの方向に集約された形が本改定案であると考える。5 つの柱に示されている通り、根本的な方針に大きな変更はないものの、市民一人ひとりに寄り添いながら、より良い方向へ進めていくという姿勢が色濃く反映されている。

福井市は、都市部から自然豊かな地域まで幅広い特性を有しており、それぞれの地域で本マスタープランをベースとした議論や振り返りが行われることが重要である。計画の完成を終着点とするのではなく、地域住民が主体的に関わり、自分ごととして捉えることが大切だと思う。

本計画に対して異なる意見が出てもいいと思うので、それをきっかけに多様な関わり方が生まれることが望ましい。これについては、各分野や地域において、皆様のお立場の中で、きっかけをつくっていただき、本計画をもとに具体的な行動や対話につなげていただきたいと思っている。

〇委員

2 年間にわたり、委員の皆様の多様な意見を伺うことができ、私自身にとっても大変勉強になった。議論を通じて、様々な視点が集約され、豊かな内容のマスタープランが出来上がるのを間近で見ることができたことは貴重な経験である。

本提言案に関して、委員長･副委員長において十分な議論がなされていると思う、構成について確認させていただきたい。提言の 1 番と 5 番は長期的な課題を示しており、2 番、3番、4 番は短中期的かつ具体的な内容である。現在の構成では、長期的な視点で始まり、間に具体的な内容を挟み、再び長期的な視点で締めくくられている。

順序は意図的なものだと思うが、委員長･副委員長のご見解を伺いたい。

〇委員長

都市計画マスタープランは、策定後の実現性が重要だと思っているので、今回の提言では、実効性を確保するための手段を中心に構成している。まず、人口減少が進む中で、担い手不足が深刻な課題であるため、人材育成や担い手づくりが重要であり、加えて、市民の主体的な参加や民間活力の導入、官民連携が必要になってくる時代だと思う。さらに、緑の基本計画や中心市街地活性化、公共交通などの各種施策の連動がないとマスタープランは実現できないと思う。

最後に、全体の方針と絡めて、今回のキーワードである「つなげる」を用いてまとめたものを市長に提言したいと考えている。

〇委員

こどもの視点を考えると、今回の提言に「次世代」という言葉が盛り込まれたことは、非常にありがたく思う。

昨年と比較して、気温の上昇等の天候面や、デジタル面で著しく変化してきている。

このような中において、こどもたちが自分たちの住む場所について、より身近に感じるためには、都市計画に至る前段階が必要であり、こどもたちの意見を聞くといった視点を持ち、次のマスタープランを考えていくことが、次世代へとつながっていくと考える。

従来は意識されてこなかったかもしれないが、こどもも権利を持った一市民であるという考え方のもと、こどもにも視点を向けていいただけるとありがたい。

〇委員

農業分野においても後継者がいない、若者が定住しないというのが現状だと思う。こうした課題に対し、若者を福井に呼び寄せる、あるいは若者が住みやすいと感じられるよう、もう少し具体的な内容を出していけたらと感じた。

〇委員

現在の人口減少や災害への対応、15 年前よりも進化したデジタル技術の活用などが盛り込まれた新しい計画が出来上がったと考えている。すべてのことをできるわけではないかもしれないが、いろいろ検証を重ねながら実行していただきたい。

〇委員

提言書の中にこどもたちがまちに関心を持つきっかけとなるようにとの記述があったが、さらに踏み込んで「愛着」や「誇り」といった、もう少し強い言葉を使ってもいいかなと思う。

〇委員

このマスタープランが地域で実行され、実現に向かうためには、市民の力が不可欠であり、これを浸透させるには自治会や公民館など、地域の場において、学習する機会を設けることが必要であると改めて思った。

私たちの団体においても、マスタープランを活用しながら、地域の変化に適応できるよう他地域を見ながら、自分たちの地域の在り方を考えていきたい。

ただ「マスタープランが出来た」ではなく、市民もこの計画を見る力を付けていく必要があると思った。

〇委員

この委員会は、興味をもって、毎回楽しみに参加させていただいていた。提言書には住民主体という文言が出ているが、公聴会は申出がなく、残念ながら中止になってしまったことを考えると、住民の方々には、そのような意識が低いのかなと思った。

「次世代への情報発信」や「つながる」といった表現に関して、大学や高校における授業等を

通じた情報発信がどのように行われているのか教えていただきたい。

〇委員長

大学において、本マスタープラン全体を授業で使用しているわけではないが、立地適正化計画や都市マスタープランの一部を教材として活用している。特に福井市のマスタープランは内容が分かりやすい。大学全体としてカリキュラムには至っていないが、各教員が個別に活用していると思われる。

これを機会に広報していきたいと思う。

〇委員

このマスタープランは素晴らしいと思う。今後の市民生活の場となる都市計画を形成する、まちづくりの土台となる重要な計画であると思うので、この計画の実行と推進をお願いしたい。

〇委員

次世代への人材育成において、こどもたちに都市計画やまちづくりの内容を分かりやすく伝えることは非常に大切であると改めて感じた。これまでの議論の中で、「こども向けの広報があれば、自分の住む地域に関心を持つきっかけになるのではないか」との意見があり、特に印象に残っている。

行政がどのようにまちづくりを考え、実践しているかをこどもたちに伝えることは、保護者や地域全体の理解促進にもつながり、福井市全体の活性化にもつながっていくと感じる。こうした視点を持ち、我々大人も積極的に取り組んでいく必要があると感じた。

〇委員

マスタープランの策定にあたり、各ブロックのまちづくり団体や自治会等の意見をそれぞれ聞き取りながら取り組まれてきたことは、非常に評価したいと思う。

また、「みんなが輝く　全国に誇れる　ふくい（第八次福井市総合計画）」の都市計画マスタープランとは何かと考えると、他の真似をするのではなく、福井が住みよさランキング 1 位ということを活かしてもらえればいいと思う。特に今後は地域間競争が激化することが予想される中で、人口減少や経済的課題に対応するためにも、産業のイノベーションを取り入れていかなければいけない。

福井には全国に誇れる企業も存在しており、そうした産業のイノベーションを活用し、新たな産業創出につながることで、若い人たちの定着にも寄与すると思う。今後の推進においては、こうした視点を踏まえた取り組みをしてもらえるとありがたい。

〇委員長

冒頭でも申し上げたとおり、環境変化、人口減少、災害などの変革の時代に対応できるマスタープラン、都市計画が必要だと思う。イノベーションや新たな価値をいかに創出するかといっ

た視点も重要であり、すべての要素を盛り込めたかは分からないが、今後の時代に対応するマスタープランということにさせていただきたいと思う。

それでは、「その他」今後のスケジュールについて、事務局からご説明をお願いしたい。

〇事務局

＜「今後のスケジュールについて」説明＞

〇委員長

本日の会議をもって、改定にあたる、予定されたすべての事項についてご審議いただいた。

修正内容の確認については、委員長である私に一任させていただくということになると思うが、お認めいただけるか。

〇委員

〈賛同の声〉

〇委員長

賛同いただいたので、こちらで確認させていただく。

事務局にお返しする。

〇事務局

これをもって、第 7 回福井市都市計画マスタープラン等策定委員会を終了させていただく。なお、本日の委員会をもってすべての審議が終了となる。

最後に、都市計画課長からご挨拶を申し上げる。

〇事務局

＜都市計画課長挨拶＞

〇事務局

以上をもって、福井市都市計画マスタープラン等策定委員会のすべての議事を終了する。